

132 番の歌 私たちは一つになる

## エホバに喜んでもらえるような結婚式にするには

「**全てのことを適正に、取り決めに沿って行いましょう**」。 [コリント第一 14:40](#)

ポイント：どうすれば**エホバに喜んでもらえる**ような**結婚式**ができるでしょうか。

1-2. エホバはどんな結婚式を挙げてほしいとっていますか。

今、**婚約中**なら、**人生の中でも特に幸せな日々**を送っているはず。 **結婚式の準備で大忙し**か  
もしれません。エホバは結婚する2人の幸せを願っています。 **結婚式\*** 語句の説明: 多くの文化圏では、結婚式で新郎新婦が神の前で誓いをします。式の後に披露宴が行われることもあります。結婚式や披露宴をするのが一般的ではないとしても、結婚式についての聖書の考えを調べるのは大切なことです。 **の日もその後もずっと幸せでいてほしいと心から思っています。** ([格 5:18](#) **あなたの泉(\*水源)に祝福があつてほしい。あなたは若い時から**  
**の妻と喜ぶように。** [ソロ 3:11](#) 「シオンの女性たち、見に出ていらっしやい。 **ソロモン王が花婿の冠(\*花の冠)を付けている。結婚の日、王の喜びの日に母君が作った物を**」)

2 **エホバに喜んでもらえるような結婚式**にすることは**大切**です。 **どうして**でしょうか。 **どのよう**  
**に**そうできるでしょうか。この記事では、そのために**役立つ聖書の考え**を学びます。結婚式の準備をしている**カップル**にとっても、**式に出席する人**や**式について相談を受けた人**にとっても**ため**  
**になるはず**です。

### エホバに喜んでもらえるような結婚式にするのは**どうして**か

3. **結婚式の準備**をしているカップルは**どんなことを一番に考え**ますか。どうしてですか。

3 結婚を控えたカップルは、**聖書に書かれているエホバの考え**に**合わせて式の準備**を進めるように  
にします。どうしてでしょうか。 **結婚という制度を作ったのはエホバ**だからです。エホバはアダムとエバを引き合わせ、**最初の結婚式を執り行い**ました。 ([創 1:28](#) **神は2人を祝福し、こう言った。「子を生み、増えて、地上全体に広がり、地球を管理しなさい。また、海の魚、空を飛ぶ生き物、地上を動くあらゆる生き物を治めなさい」** ; [2:24](#) **それで、男は父と母から離れて妻にしっかりと付き(\*妻とずっと一緒にいて)、2人は一体となるのである。)** それで**結婚式の準備をする時、エホバが何を望んでいるかをまず考える**ことは大切です。

4. **結婚式の日にもエホバに喜んでもらいたい**と思うのはどうしてですか。

4 結婚式の**準備の時**に、**エホバの望んでいることを考えるべき大切な理由**が**ほかにも**あります。エホバは**お父さん**で、**親友**でもあるからです。 ([へブ 12:9](#) **また、私たちは人間の父親から矯正を**

受け、父親に敬意を払いました。ではなおのこと、天の父(\*聖なる力によって生活を導いてくださる父)に従って生きるべきではないでしょうか。) エホバにこれからもずっとそういう存在でいてほしいと思うのではないのでしょうか。結婚式の日も、ほかのどんな日も、この大切な友達を悲しませることはしたくありません。(詩 25:14 エホバは、ご自分を畏れる人を親しい友とし、契約を知らせる。) エホバがこれまでしてくれたことや、これからしてくれることを考えると、エホバに喜んでもらえるような結婚式にしたいと思うのではないのでしょうか。(詩 116:12 私は何をしてエホバにお返ししよう。私のためにしてくださった全ての良いことに対して。)

## エホバに喜んでもらえるような結婚式にするには

5. 結婚式の準備をする時、聖書はどのように役立ちますか。

5 聖書には、結婚式や披露宴について細かなルールは書かれていないので、状況や土地の習慣や好みに合わせて決めることができます。結婚についての法律に従う必要もあります。(マタ 22:21 その人たちは、「カエサルのです」と言った。イエスは言った。「それでは、カエサルのものはカエサルに、しかし神のものは神に返しなさい」) でも何より大事なのは、聖書に書かれている神の考えに沿った結婚式にすることです。そうすればエホバに喜んでもらえます。では、どんな神の考えを覚えておくといいでしょうか。

6. 結婚についての法律に従うことが大切なのはどのようにしてですか。

6 法律に従う。(ロマ 13:1, 2 全ての人は上位の権威に従わなければなりません。神によらない権威はないからです。存在する権威は神によって相対的な地位に据えられています。2 ですから、権威に反抗する人は、神の取り決めに従っていないことになり、逆らう人は断罪されます。) 多くの国には、結婚についての法律があります。クリスチャンのカップルは、自分たちの地域にどんな法律があるかを確認し、それに従わなければいけません。何か分からないことがあれば、長老に相談してください。\*クリスチャンが結婚に関する法律をどう見るかについて詳しくは、「ものみの塔」

2006年10月15日号の「神と人から見て誉れのある結婚式」という記事を参照。

7. どんな雰囲気の結婚式にするといいですか。

7 品位のある雰囲気にする。(コリ 10:31, 32 それで、食べるにしても、飲むにしても、ほかのどんなことをするにしても、全てのことを神の栄光のためにしましょう。32 ユダヤ人にとっても、ギリシャ人にとっても、神の会衆にとっても、信仰の妨げ(\*過ちのもと)にならないようにしましょう。) 世の中の雰囲気を持ち込むのではなく、聖なる力が流れていることがはっきり分かるような雰囲気にするのを心掛けましょう。(ガラ 5:19-26 さて、罪深い欲望から出る行いは明らかです。それは、性的不道徳、汚れ、恥知らずな行い、20 偶像崇拜、心霊術、敵意、争い、嫉妬、激怒、不和、分裂、分派、21 ねたみ、酩酊、ばか騒ぎなどです。こうした事柄について私はすでに警告しましたが、あらためて警告します。こうした事柄を習慣にする人が神の王国を授けられることはありません。22 一方、聖なる力が生み出すものは、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、23 温和、自制です。このようなものを否定する律法はありません。24 キリス

ト・イエスのものである人たちは、自分の罪深い欲情や欲望を杭にくぎ付けにしました。25 私たちは聖なる力に導かれて生きているのですから、その力に導かれてきちんと歩いていきましょう。26 自己中心的になってはなりません。競い合ったりねたま合ったりしないようにしましょう。) 聖書によると、リーダーシップを取るのは夫です。それで、和やかで品位のある結婚式にする責任は新郎にあります。どうすればそういう結婚式にできるでしょうか。聖書に基づく結婚の話をしてもらうと、結婚というエホバからの贈り物への感謝が深まります。出席する人たちみんなも温かく品位のあるその話から、結婚式が厳粛なひとときだということを理解できます。それでたいてい、兄弟姉妹は王国会館で挙式します。王国会館を使いたい場合、なるべく早く長老団に手紙で依頼してください。

8. 品位のある雰囲気のある披露宴にするために何ができますか。(ローマ 13:13)

8 ローマ 13:13 昼間のように、きちんと行動しましょう。ばか騒ぎや酩酊、不道德な性関係や恥知らずな行い、争いや嫉妬を避けなければなりません。を讀む。披露宴の雰囲気にも気を付けるようにします。世の中に広く見られる風潮に影響されないために何ができますか。「ばか騒ぎ」と訳されているギリシャ語は、飲み過ぎたり夜遅くまで音楽が流れたりするようなパーティーを連想させます。(ローマ 13:13 の注釈「ばか騒ぎ」の項目を参照。) 披露宴でお酒を出す場合、誰も飲み過ぎたりしないように気を配ります。\*古代ギリシャ語の文書では、この語は祭りの時にぶどう酒の神ディオニュソス(バックス)など異教の神々をたたえて夜遅くまで歌い、通りを練り歩く騒々しい人たちに関連して使われた。そのように人々が練り歩きながら勝手気ままに行動することは、小アジアの町を含め使徒時代のギリシャの町では珍しくなかった。(ペー 1:1) ペテロはそのクリスチャン宛ての手紙を書いていて、その人たちはクリスチャンになる前、「激しい欲情、飲み過ぎ、ばか騒ぎ、飲み比べ、忌まわしい偶像崇拜にふけていた。(ペー 4:3, 4) パウロは、「ばか騒ぎ」を「罪深い欲望から出る行い」に含め、そのようなことにふける人が「神の王国を授けられることはありません」と述べた。(ガラ 5:19-21) パウロとペテロは「ばか騒ぎ」という表現を使った際、酩酊、不道德な性関係、性的不道德、汚れ、恥知らずな行い、激しい欲情なども挙げている。音楽を流すとしても、会話が楽しめるぐらいのボリュームにとどめましょう。音楽のジャンルや歌詞にも注意して、その場にいる人たちの良心に配慮します。

9. 披露宴でスピーチや余興をしてもらう場合、どんなことに気を付けますか。

9 披露宴で友達にスピーチをしてもらったり、動画を流したり、余興をしたりすることを計画していますか。きっといい思い出になるはずですが、でも、どんなことをするにしても、みんなが爽やかな気持ちになるようなものにしましょう。(フィリ 4:8 最後に、兄弟たち、真実なこと(\*ことは何でも)、真面目なこと、正しいこと、清いこと、愛すべきこと、立派なこと、高潔なこと、称賛に値することについて、考え続けてください。) こう考えてみてください。「誰かに失礼だったり、嫌な思いをさせたりしないだろうか。結婚を軽く見るような内容ではないだろうか」。何よりも「エホバに喜んでもらえるだろうか」と考えてください。ユーモアがあるのはいいことですが、下品な内容のものは避けなければいけません。(エフェ 5:3 性的不道德や、あらゆる汚れや食欲については、皆さんの間で口に上ることさえあってはなりません。聖なる人として正しく

振る舞うためです。) 披露宴でコメントをすることになっている家族や友達に、どんなことに気を付けてほしいかを前もって伝えておきましょう。

10. シンプルな式にするといいいのはどうしてですか。(ヨハネ第一 2:15-17)

10 **新郎新婦が目立ち過ぎないようにする。**(ヨハネ第一 2:15-17 世も、世の中のものも、愛してはなりません。世を愛する人は、天の父を愛していません。16 世の中のもの、すなわち罪深い(d\* 肉体の)欲望、見ることから生じる(d\*目の)欲望、持ち物を見せびらかすことは皆、父からのものではなく、世から出るものだからです。17 さらに、世も、世の欲望も、過ぎ去りつつあります。一方、神の望むことを行う人は永遠に生きています。を読む。) **自分たちに注目を集めようとするのではなく、エホバがたたえられることを目指しましょう。**エホバはそういう姿勢を喜んでくれます。それで、**お金をたくさんつぎ込んで持ち物を「見せびらかす」ような派手な結婚式にはしないようにします。**シンプルな式にすることにはどんな**メリット**がありますか。ノルウェーの**マイク兄弟**はこう言っています。「**借金をせずに済み、開拓を続けることができました。シンプルでしたが、思い出に残るいい式だったと思います。**インドの**タビサ**姉妹もこう言っています。「**ストレスが少なかったです。式がシンプルな分、悩んだりもめたりしなくて済んで、楽でした。**」



どこに住んでいてもクリスチャンは、  
思い出に残るシンプルですてきな結婚式ができる。

(10-11 節を参照)

11. 花嫁と花婿は結婚式で何を着るか選ぶ時、どんなことを考えるといいですか。(写真も参照。)

11 **新郎新婦は結婚式の時、何を着たらいいでしょうか。すてきに装いたい**と思うはずですが。聖書の時代も花嫁と花婿は美しく着飾りました。(イザ 61:10 **私はエホバのことで歓喜する。私の神のことで喜びに満ちる。神は救いの衣服を着せてくださった。正義の外衣(\*袖なしの上着)をまとわせてくださった。祭司のに似たターバンを巻く花婿のように。装飾品で身を飾る花嫁のように。)**結婚式の時の服装は普段とは違うでしょう。でも、**露出が多**かったり**派手過ぎ**たりする服装は**したくありません**。(テモ一 2:9 **女性は、慎みと健全な考え方(\*良い判断)が表れた、きちんとした(\*上品な)服装をすべきです。凝った髪形をしたり、金や真珠や非常に高価な服を身に着けたりするのではなく、)**新郎新婦が**着ていたものばかりが印象に残るような結婚式**になってしまおうとしたら**残念**です。(ペテ一 3:3, 4 **皆さんを飾るのは、凝った髪形や金の装飾品や上等な服といった外面のものであってはなりません。4 自分の内面(\*内面の人つまり心)を飾りとしましょ**う。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります。)

12. 聖書の教えに反する結婚式の習慣を避けるのが大切なのはどうしてですか。

12 **聖書の教えに反する習慣を避ける。**(啓 18:4 **また、天から別の声がした。「私の民よ、彼女から出なさい。彼女の罪に関わったり、災厄に巻き込まれたりしないためである。)**世の中の結婚式には、**間違った宗教や心霊術や迷信の影響**を受けた**習慣**が見られます。エホバは、そういう**汚れたもの**から**離れなさい**、と言っています。(コリ二 6:14-17 **クリスチャンではない人と結び付い**

てはなりません。それは不釣り合いな関係です。正しいことと不法にいったいどんな関わりがあるのでしょうか。光と闇にどんな共通点があるのでしょうか。15 キリストとベリアルの間どんな調和があるのでしょうか。クリスチャンはクリスチャンではない人と何を共有するのでしょうか。16 神の神殿と偶像にどんな接点があるのでしょうか。私たちは、生きている神の神殿です。神が言った通りです。「私は彼らの中に住み、彼らの中を歩く。そして私は彼らの神となり、彼らは私の民となる」。17 「エホバはこう言います。『それで、彼らの中から出て、離れなさい。汚れたものに触れるのをやめなさい』。『そうすれば私はあなたたちを受け入れよう』」) あなたが住む地域の結婚式で、これはどうなんだろう、と思う習慣や伝統があつたら何ができますか。きちんと起源を調べ、聖書の教えに合っているかどうかを確かめましょう。

13. 新郎新婦は贈り物をもらう時、どのようにエホバに做えますか。

13 結婚する2人に贈り物をするのが一般的な地域もあります。もちろん、どんな贈り物ができるかは人それぞれ事情によって違います。クリスチャンはいつも与えたいと思っていて、与えると幸せな気持ちになれます。(格 11:25 惜しみなく与える人は報われ(\*太らされ)、他の人を爽やかにする(\*に惜しみなく水を与える)人は自分も爽やかにされる。使徒 20:35 私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました) とはいえ、新郎新婦は出席者に、必ず贈り物をしないといけないと思わせたくはありません。ささやかな贈り物は喜ばれないと感じさせたりもしません。エホバのように感謝の気持ちを忘れないでいたいものです。出席者が自分にできる心からの贈り物をしていていることを喜びましょう。(コリニ 9:7 一人一人が、嫌々ながらも強いられてでもなく、心に決めた通りに行ってください。神は快く与える人を愛されます。)

## 大変だと思える時できること

14. 結婚式の準備をする中で、どんな難しさを感じるがありますか。

14 エホバに喜んでもらえるような結婚式をしたいと願っていても、なかなか難しい場合があります。例えば、シンプルな式にしづらいと思うかもしれません。ソロモン諸島のチャーリー兄弟はこう言っています。「披露宴に誰を呼ぶかすごく悩みました。友達はみんな自分が呼ばれるものと思っていました。この辺りではそれが普通のことだからです」。先ほどのタビサ姉妹もこう言っています。「私が住む地方では盛大な披露宴をするのが一般的です。それで、親を説得してゲストを100人ぐらいに抑えるのが大変でした」。インドのサラ姉妹はこう話します。「社会的地位に強いプライドを持っている人たちもいます。いとこたちはすごく豪華な結婚式を挙げました。それで、もっと盛大な式にするようにというプレッシャーをかけられました」。では、こういういろんな大変さがある時、どうしたらいいのでしょうか。

15. 結婚式の計画について祈るのが大切なのはどうしてですか。

15 結婚式の計画について祈る。気掛かりな状況や自分の気持ちを何でもエホバに話せます。(コリ 4:6, 7) 何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願いを神に知っていただく

ようにしましょう。7そうすれば、神からの平和が、キリスト・イエスを通して皆さんの心と考えを守ります。その平和は人間の理解をはるかに超えています。) 良い判断ができるように、心配があっても穏やかな気持ちでいられるように、必要な時に勇気を出せるように祈ってください。

(ペテロ 5:7)そして、心配事(\*不安/悩み)を全て神に委ねましょう。神は優しく気遣ってくださるからです。) エホバが祈りを聞いて助けてくれるという経験をする、エホバをますます信頼できるようになります。タビサ姉妹はこう言っています。「私たちは、2人の間でも家族との間でも、意見がぶつかったらどうしようかと心配でした。それで2人で結婚式について話し合う時はいつも、まず一緒に祈るようになりました。エホバが助けてくれたので、空気がぴりぴりすることはありませんでした」。

16-17. 結婚式の計画を立てる時、良いコミュニケーションが大切なのはどうしてですか。

16 上手にコミュニケーションを取る。(格 15:22 相談(\*内密の話し合いを)しないと計画は失敗し、助言者が多ければ達成される。) 結婚式に向けて2人で決めないといけないことがたくさんあるはず。日付、予算、招待する人などいろいろです。何かを決める前に2人でよく相談し、聖書の考えも確かめるようにしましょう。経験を積んだクリスチャンからアドバイスをもらうのもいいことです。自分の希望や好みを伝える時は、意見を通そうとするのではなく、相手の気持ちに配慮しながら穏やかに話しましょう。両親など近い家族から何かの要望を受けたなら、できる限り応えるようにします。結婚式は家族にとっても特別な時だからです。要望通りにできない場合は、理由を丁寧に説明してください。(コロ 4:6 塩で味付けされた快い言葉を語るように心掛けましょう。そうすれば、誰に対してもどのように答えるべきかが分かります。) 2人の一番の願いが、幸せでエホバに喜んでもらえる結婚式にすることだということを、家族にも分かってもらえるようにしましょう。

17 特にエホバの証人ではない親に、自分たちの意向について説明するのは難しいかもしれません。そんな時どうしたらいいのでしょうか。インドのサントシュ兄弟はこう言っています。「家族は結婚式の時、ヒンズー教のいろんな儀式を取り入れてほしいと思っていたので、それができないことをかなり時間をかけて説明しないといけませんでした。同時に、エホバが嫌うことでない限り家族の願いを尊重するようにしました。例えば、披露宴で出す食事のメニューは家族の希望に合わせて変更しました。家族が嫌がったので歌やダンスはしませんでした」。

18. 式がスムーズに行われるように何ができますか。(コリント第一 14:40) (写真も参照。)

18 よく計画する。前もってよく準備していれば、当日あたふたしなくて済みます。(コリント第一 14:40 全てのことを適正に、取り決めに沿って行いましょう。を読む。) 台湾のウェイン兄弟はこう言います。「結婚式の数日前に、スタッフの兄弟姉妹と簡単な打ち合わせをしました。式の流れを確認し、本番がスムーズに進むようにリハーサルもしました」ゲストに配慮して、できる限り式が時間通りに進むよう見届けましょう。式がスムーズに進むために、前もってよく計画しておくことが大切。(18節を参照)



19. 披露宴でも節度が保たれるようにどんなことができますか。

19 **どんなことが起きそうか**考えておけば**対策**ができます。(格 22:3 **聡明な人は危険に気付いて身を隠すが**、**経験のない人たちは進んでいって当然の報い(\*罰)を受ける。**) 例えば、**招いていない人が披露宴に来ることが普通の地域**なら、そういうことを**防ぐために何ができるか**考えておきましょう。**エホバの証人ではない親族**に、**エホバの証人の結婚式がどんな様子か**を**前もって伝えて**ください。jw.orgの「**エホバの証人の結婚式はどのようなものですか**」の記事を見せることもできます。**披露宴の時もきちんと節度が保たれる**ように、**信頼できる兄弟**に「**宴会の幹事**」を**務めて**もらいます。(ヨハ 2:8 **イエスは言った。「さあ、少しくんで、宴会の幹事の所に持っていきなさい」。**彼らは持っていった。) **当日の流れ**を**幹事の兄弟に具体的に伝えて**おけば、**品位のある雰囲気**になっているか、**計画通り進んでいるか****見届けてくれるはず**です。

20. 結婚する2人はどんなことを覚えておくといいですか。

20 **結婚式までにしなければいけないこと**を考えると、**気が遠くなるかも**しれません。でも覚えておきたいのは、**結婚式が2人でエホバに仕える素晴らしい日々**の始まりだということです。**シンプルで品位のある結婚式に**できるよう、**ベストを尽くして**ください。**エホバに頼り**ましょう。エホバに**助けてもらうなら**、**後で振り返って****幸せな気持ちになれる**ような**すてきな結婚式に**できるはずです。(詩 37:3, 4 **エホバに頼り、善を行え。地上に住み、忠実に歩め。4エホバに仕えるのは最高の喜び(\*エホバを最高の喜びとせよ)。**神はあなたの心の願いをかなえてくださる。)

## 何を学びましたか

1. **エホバに喜んでもらえるような結婚式にするのが大切なのはどうしてですか。**

・S03 **エホバは**、**アダムとエバを引き合わせて最初の結婚式を執り行い、結婚という制度を作った方**だから。

・S04 **エホバはお父さんで、親友でもある**。エホバが**これまでしてくれたことや、これからしてくれることを**考えると、**エホバに喜んでもらえるような結婚式にしたい**と思う。

2. **どうしたら温かく品位のある雰囲気の結婚式にできますか。**

・S07 **世の中の雰囲気を**持ち込むのではなく、**聖なる力が流れていることがはっきり分かるような雰囲気にする**ため、①**和やかで品位のある結婚式にする責任のある新郎がリーダーシップ**を取り、②**聖書に基づく結婚の話**をしてもらい、③**できれば、王国会館で挙式**する。

・S08 **露宴でお酒を出す場合、誰も飲み過ぎたりしない**ように気を配る。

・S09 **動画を流したり、余興を**したりすることを計画する場合、**みんなが爽やかな気持ちになるようなものにするよう注意し、コメント**をすることになっている**家族や友達に、どんなことに気を付けてほしいかを前もって伝えて**おく。

3. **シンプルな式にする**といいのはどうしてですか。

・S10 **新郎新婦が自分たちに注目を集めようとするのではなく、エホバがたたえられる**ことを目指し、**お金をたくさんつぎ込んで持ち物を「見せびらかす」ような派手な結婚式にはしない**。そのような**シンプルな式にするなら、借金やもめごと避け、思い出に残るすてきな結婚式**ができる